

平成30年度 いばら保育園自園評価
【保育の理念 保育観】

子どもの最善の利益の考慮	講評
問1 いばら保育園は、理念や目標に基づいて保育をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・法人理念を明記し、いつでも確認できるようにしている ・理念達成に向け園目標そして個々の目標をたて目標実現に向けて日々保育している
問2 入園している子どもの保育だけでなく、地域の子育て支援をするという社会的役割もあることを意識している	<ul style="list-style-type: none"> ・一時預かり児を受け入れ家庭での様子を聞き、個々にあった保育や支援を心掛けている

【職員の資質向上 環境を通して行う保育】

問3 自由あそびの指導案は、日々の保育に生かされている	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案を子供の姿を語りあえることができるような形式にしたことにより、保育指針に基づき子供の育ちの芽生えや学びについて話合えるようにしている
問4 月週案は実際の子供の姿から、自分の保育を評価、反省するものになっている	<ul style="list-style-type: none"> ・保育課程 年間保育計画から月週案を作成し、日々の評価、反省している
問5 発達に必要な経験が得られるような環境構成が工夫されている	<ul style="list-style-type: none"> ・月の目標や計画から、職員が共通理解をし体育遊具を設定する。ホールや部屋の一部など体を動かせるスペースを用意するように計画をしている
問6 異年齢保育は、子どもたちの楽しい交流の場となっている	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢の交流は、行事だけではなく日々の保育で、常に交流し子ども同士の育ちを大切にしている
問7 遊具・用具など活用しやすいように整理保管している	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の発達や思いにそって遊具 用具を活用しているが、時に保管場所等の関係で、使用しにくいことがあるため、保管場所を検討する
問8 食について保育士と給食従事者が意見交換の場を持ち連携して食育活動をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫した野菜は、その日に調理するなど給食室と連携し食育活動に取り組んでいる ・離乳食 アレルギー食は、細かく話し合いを持っている。アレルギー食は、トレイや食器の個別化を徹底しネームを使用している
問9 子ども主体の活動、遊びを重視している	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達のやってみよう気持ちを大切にしている
問10 子どもや保育の姿を保護者に伝えている	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の思いを理解するように努め、子どもの姿を連絡帳 クラスボード 掲示板で伝えながら、口頭でも伝えるようにも心がけている

【行事について】

問11 日本の伝統や四季を味わい 楽しめる行事になっている	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの発達に合った行事への取り組みをし、楽しみながら伝統行事を伝えている
問12 計画 実施 評価 改善の体制をとっている	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちがよりよい体験ができるように、評価 反省をし、次年度の計画に繋げている

【経営 組織】

職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっている	<ul style="list-style-type: none"> 職員会を設け、クラス運営や全体保育など子供たちが安全に安心して過ごせるように、話し合いを行い、職員間の共通理解をもっている 避難訓練は毎月行い、消防署への通報訓練、消火訓練も行っている、また、水害訓練は井原小学校へ火災の総合訓練は、井原公民館へ避難している
職員会議回数 時間 内容は適切か	
避難訓練 交通安全指導を計画的に実施してる	
園内外の研修などで学んだ知識や技術をクラスや園で共有する機会がある	<ul style="list-style-type: none"> 職員が研修を受ける機会を設け、そこで学んだことを研修報告書を提出し回覧している
クラスや担当での問題や課題は、他のクラスや園全体で共有されている	<ul style="list-style-type: none"> クラスや担当での問題や課題は、園全体で考え改善 解決するように取り組んでいる
自分のミスや失敗を躊躇せず、報告・相談することができる	<ul style="list-style-type: none"> 自分のミスや失敗をそのままにすることがないように報告し解決に努めている。また、同じことを繰り返さないように、お互いに指導 助言をしている
職務上困ったことがあれば、相談しあえる仲間がいる	<ul style="list-style-type: none"> 問題事項を一人で抱え込むことがないように相談し話し合いの場を持ちながら、園で解決するようにしている
保育技術や保育観を職場内で伝え受け継ぐ文化がある	<ul style="list-style-type: none"> 個々の意見を受け止め、経験から助言するなどお互いに保育を高めていけるように心がけている

【人材育成 園内研修】

<p>園内研修は共通意識を高めることができる</p> <p>園内研修は、保育を高めることができる</p> <p>指導して頂いた園内研修は保育にいかされている</p> <p>保育や子供のことを話す環境になっている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 園内研修を積極的に行い日々の保育の問題点など相談したり、外部講師から助言をもらいよりよい保育を目指している 十分な時間がとりにくいが、日々子ども達の姿を語り合い、情報を共有したり、良い所を取り入れあいながら保育の質を高め合うことができるように取り組んでいきたいと思っている
---	---

【保護者との連携と情報公開について】

<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っている 掲示板 クラスボードなど適切かつ効果的に活用している 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の扱いは、園内から持ち出さないことや管理場所を徹底し十分に気を付けている ホームページへの保育中の写真の使用については、入園時に保護者の意向を聞いている パスワードを用いて閲覧するシステムを取り入れている
--	--

【開かれた保育園づくり】

<ul style="list-style-type: none"> ・「幼稚園や小学校と連携し、交流する機会をもっている ・他施設(幼稚園 小学校 中学 高校 老人)の幼児 児童 生徒と触れ 合う中で幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことが出来るような配慮や援助支援をおこなっている ・園児の心身の発達や地域の自然との触れ合いの場を大切にしている ・散歩で近隣の方や地域の自然との触れ合いの場を大切にしている 園庭開放の情報を発信し、地域社会に開かれたものになっている ・地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れている 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の園、3園で年3回交流をしている。 様々な園の友達と関わりあそび、社会性を育て同じ地区の友達を知る機会となっている ・小学校の行事を見学したり、業間休みを利用しチャイムの音で行動する小学生を見たり、一緒に過ごすなど、小学校の環境に触れるなど、スムーズな就学ができるように小学校との連携をもっている ・近隣の高校 中学校との交流もあり、職場体験や実習など関わり過ごす機会を大切にしている ・交通ルールを知り、園外活動をしている ・園外の四季の自然に触れることができるように計画をたて園外散策や自然とあそぼう会など行っている
---	---

園全体の評価

開園30周年にあたる今年度は、今までの保育を振り返りながら、引き継いでいく歴史と新たな取組も取り入れてきた。

今まで5クラスだったクラスを、5歳児クラス 3・4歳児クラス×2 2歳児クラス 1歳児クラス 0・1歳児の6クラスにした。

ねらいとして、

- 今まで以上に各年齢の発達をしっかりと押さえ保育する
- 今まで通り日々の生活での異年齢との関わりを大切にし、お互いに刺激し育ち合い豊かな体験をする

今まで、3. 4.5歳の異年齢クラスであったため、異年齢との関わりが減少することを懸念していたが、今までの経験から助けてもらったり、教えてもらったり、真似してやってみたりなど、従来通り年齢の枠を超え子ども同士が関わる姿もあるが、同年齢での友達関係がより深まっている。

今後の課題

園内外が清潔で心地よい空間となり、安全で安心し自分自身を園生活のなかで表現できる環境をつくっていききたい
身体を動かしのびのびと遊び、体力をつけ生き生きとした園生活がおくれるようにする